

目 次

I	技術開発の背景とねらい	1
II	技術の特徴とその効果	2
III	技術の導入	3
	1. 技術の適用条件	3
	2. 技術の使用法	5
	(1)適品種 (2)育苗 (3)移植時期と苗の形質 (4)苗とり作業 (苗ほぐし)	
	(5)ばらまき条件 (6)栽植密度 (7)人手によるばらまき作業方法 (8)本田 施肥 (9)管理	
	3. 技術導入の効果	2 1
	4. 普及指導上の留意事項	2 2
IV	試験研究成果の概要	2 7
	1. 紙筒苗の播種作業とばらまき植の労力調査	2 7
	2. 苗の植付状態とその影響に関する試験	2 7
	3. ばらまき栽培稲の倒状に関する試験	3 1
	4. ばらまき植の栽植密度、施肥法に関する試験	3 3
	参考文献	

☆ 試験研究担当者

<道立中央農業試験場稲作部>

小 山 八十八 (前部長)

森 脇 良三郎 (育種科長・現道立上川農業試験場水稲栽培科長)

<道立上川農業試験場>

砂 田 喜与志 (水稲栽培科長・現道立十勝農業試験場豆類育種科長)

小 川 勉 (水稲栽培科)

<道立道南農業試験場>

森 本 董 也 (現道立中央農試原々種農場作物第1科長)

☆ 総括とりまとめ 森 脇 良三郎